Anubis Talkback

前提条件

- Horus/Hapiをステージ/スタジオに置き、マイクアンプとして使用します。
- Anubisをコントロールルームに置き、モニターコントロールとTalkbackに使用します。
- 演奏者はHorus/Hapiのヘッドフォンでモニターしているとします。

Horus/Hapiの設定とAnubisの設定

Horus/HapiとPyramix間の配線

Horus/HapiとPyramix(MassCore/ASIO)は通常通り Mic Pre(の出力)を MassCore/ASIO Input に接続し てください。

PyramixとAnubis間の配線

Pyramix(MassCore/ASIO)のミキサー出力を Anubis の DAW(入力)に接続します。 これで Pyramix で録音している音を Anubis の Source を "DAW" に設定すると聴くことができます。

48V OV	O 1 3 TB 2 1 2	Main 1-2			🖂 S	48kHz
Stereo	Mic/Line 1-2	۵۵ 0.0	HOLD		-	11 .0
Mono	Inst/Line 3	_ط ھ 0.0		PEAK		-^-
ø Stereo	DAW 1-2	۵۵ 0.0	SUM	MON>CUE		
Ø AolP	Stream _{None}	_ط ھ 0.0		REF	DIM	

AnubisにCUEを作成する

Anubis の Monitor に CUE を作成します。 CUE は、Talkbackを割り込ませることができる回線です。

1. Homeボタン を長押し、Settings Settings を選択します。					
48V OV ⊙;; Im If	Monitors にタッチして開きます。				

< Settings Monitors 区 修 🖾 S 48kHz MONITORS	Create new monitor にないチレンチレンチーターを
	作成します。
Main 1-2	
Phone 1 A A	
Phone 2 A A	
Create new monitor	
< Settings Monitors □ 登区 3 48kHz	Speaker A が作成されますので、そこにタッチして中
MONITORS	の設定を行います。
💵 Main 1-2 > 🔨 🔽 🗑	
■ Alt 3-4 > ∧ ∨ m	
■ Phone 1 > ∧ ∨ m	
■ Phone 2 > ∧ ∨ î	
🔊 Speaker A > 🔨 💼	
< Monitors Speaker A び S 48kHz	Modeを Cue に設定します
MONITOR	いのにそうしたとより。
U Enabled	Mon->Cue inactive は OFF のままにしてください。
🔁 Name Cue 1	
Mode Cue	
AQ Mon->Cue Inactive	
😴 Trim 0.0 dB	
Trim 0.0 dB	トにスクロールして Button はどこに割り当てても良いですが、この例で
Button VKey 1	は VKey 1 に割り当てます。
Type Stereo	Type は Stereo に設定して下さい。
	※ TB 専用のスピーカーが(Monoで)用意されてい
	る場合は Mono に設定してください。
HANNELS	さらに下にスクロールしてください。
Solo Trim Delay Eq Link Bypass	CHANNELS はそのままで結構です。
Solo 0.0 dB 0.0 ms Eq Link Bypass	
Solo 0.0 dB 0.0 ms Eq Link Bypass	
ATCHES -	
ATCHES - Patch Eq	PATCHES はとりあえずそのままで結構です。
ATCHES - Patch Eq	PATCHES はとりあえずそのままで結構です。



.

SOUNDID REFERENCE CORRECTION	さらに下にスクロールしてください。
Enabled	SOUNDID REFERENCE CORRECTION もその
	ままで結構です。
	+こにマクロール / ナノゼキい
TALKBACK –	
Sources Dim -21 dB	Source Dim を約 -20dB に設定します。
Talker Dim 0 dB	Talk A を Talk 1 に設定します。
Q Talk A Talk 1	
Talk B None	
AVAILABLE SOURCES	さらに下にスクロールしてください。
Mic/Line 1-2	AVAILABLE SOURCES もそのままで結構です。
Inst/Line 3	
DAW 1-2	
Stream	
▶ ● 巻 ▼ ♀ /8比/7	Monitors にないチレートの階層に良います。
Cue 1	
< Settings Monitors [™]	さらに < Settings にタッナし、上の階層に戻ります。
MONITORS	
48V OV ⊙ ½ ³ 10 𝔅 𝑘 𝔄 𝑘 𝔄 ½ Settings 🗗 १७ 🗠 S 48kHz	少し下にスクロールし、Talks にタッチして開きます。
MONITORING	
Sources >	
Monitors >	
Monitor Levels	
Sound ID Reference presets	
< Settings Talks	Talk 1 にダツナし (開ざま 9 。
TALKS	
Y Talk 2 >	

%

< Talks Talk 1 び 登 図 S 48kHz TALK —	Patch を Built-in Mic_1 に設定します。 Apply Dim on all SpeakerSets を ON にします。
Talk 1	
🛃 Trim 0.0 dE	3
Patch Built-in Mic 1	
Papely Dim on all SpeakerSets	
48V OV ⓒ 1 3 18 亞 チ 坐 1 Settings ビ 登 区 S 48kHz	さらに下にスクロールし、Triggers にタッチして開き ます。
Sound ID Reference presets >	
I/O	
Audio Inputs >	
Audio Outputs >	
F Triggers >	
< Settings Triggers 日常 区 48kHz	Talkback button type は 動作の違いにより 好みの
GPIO/MIDI connector mode MIDI	
Jalkback button type No Latch	No Latch ・ ボタンを押したときのみTB
Jalkback button trigs Talk 1 None	 Latch ボタンを一度押してTB もう一度押してTBをOFF
	 ・ボタンを短く押すと上記 Latch モードで動作 ・ボタンを長押すと上記 No Latch モードで動作
	Talkback button trigs は Talk 1 に設定してください。
以上が設定できたら Cue と Talkback の設定は完 い。	了です。Homeボタンを押して通常モードに戻って下さ



.



Talknackマイクのゲインを設定

Homeボタンを長押しして Home 画面を開きます。				
Home Home Missions Settings Kic Pre Peering Logs	Mic Pre にタッチして Mic Pre の設定を開きます。			
$\begin{array}{c c} $	画面を一番右にスクロールさせ、Built-in Mic のページを開き、 画面のゲインにタッチして Anubis のダイヤルを回して音量を調 整してください。			

ANEMANで Cue(出力)を Headphone に接続する

最後に ANEMAN で Anubis の Cue(出力)を Horus/Hapi の Headphone に接続して下さい。



Isometry of the second state of the second



が表示されるようになります。 画面にはバーチャルキー • ここにタッチしてAnubisのダイヤルを回すとCueのボリュームをコントロールできます。

48V	OV			Cue 1			⊠ S	48kHz
L	ł			R	HOLD		-4	20 ^{dB} .0
					Мс			
		SoundID Reference	v			MON	>CUE	
		Mute				REF	DIM	
					Q			

- 画面上の MON>CUE ボタンを押しておくと、今自分が聴いているものが Cue として Horus/Hapi の • ヘッドフォンに送られます。
- MON>CUE を外すと、自分が聴いているもの以外の Source を Cue に送ることができます。 •
- Talkback ボタンを押すと、Anubis のマイクがトークバックとして Horus/Hapi のヘッドフォンに送られ • ます。

